

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公開番号】特開 2002-71691 (P2002-71691A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 12 日 (2002.3.12)
 【出願番号】特願 2000-257198 (P2000-257198)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/536 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 Z

G 0 1 N 33/536 F

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 17 日 (2007.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】被検物質に対する抗体を用いて、試料に含まれる被検物質の分析を行う免疫測定方法であって、前記被検物質に対する抗体が、多量体を構成する免疫グロブリンを含むことを特徴とする免疫測定方法。

【請求項 2】前記多量体を構成する免疫グロブリンが、I g M 型抗体であることを特徴とする請求項 1 に記載の免疫測定方法。

【請求項 3】前記被検物質に対する抗体が、I g G 型抗体と、多量体を構成する免疫グロブリンとしての I g M 型抗体とを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の免疫測定方法。

【請求項 4】前記多量体を構成する免疫グロブリンを、検量線が原点を通る直線を描くのに十分量に、含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 に記載の免疫測定方法。

【請求項 5】前記多量体を構成する免疫グロブリンの抗体力価が、前記被検物質に対する抗体の全抗体力価の少なくとも 2 % であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 に記載の免疫測定方法。

【請求項 6】免疫測定方法が免疫比濁法または免疫比ろう法である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 に記載の免疫測定方法。

【請求項 7】被検物質が、C 反応性蛋白質 (C R P)、免疫グロブリン (I g G, I g A, I g M)、トランスフェリン、セルロプラスミン、ヘモペキシン、1 - 酸性糖蛋白質、2 - マクログロブリン、2 - ミクログロブリン、アポ A I、アポ A I I、アポ B、アポ C I I、アポ C I I I、アポ E、C 3、C 4、アルブミン、L p (a)、シスタチン C のいずれかであることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 に記載の免疫測定方法。

【請求項 8】試料に含まれる被検物質を分析するための免疫測定試薬であって、前記被検物質に対する抗体が、多量体を構成する免疫グロブリンを含むことを特徴とする免疫測定試薬。

【請求項 9】前記多量体を構成する免疫グロブリンが、I g M 型抗体であることを特徴とする請求項 8 に記載の免疫測定試薬。

【請求項 10】前記被検物質に対する抗体が、I g G 型抗体と、多量体を構成する免疫グロブリンとしての I g M 型抗体とを含むことを特徴とする免疫測定試薬。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち本発明は、以下の通りである。

1. 被検物質に対する抗体を用いて、試料に含まれる被検物質の分析を行う免疫測定方法であって、前記被検物質に対する抗体が、多量体を構成する免疫グロブリンを含むことを特徴とする免疫測定方法。

2. 前記多量体を構成する免疫グロブリンが、I g M型抗体であることを特徴とする前項1に記載の免疫測定方法。

3. 前記被検物質に対する抗体が、I g G型抗体と、多量体を構成する免疫グロブリンとしてのI g M型抗体とを含むことを特徴とする前項1または2に記載の免疫測定方法。

4. 前記多量体を構成する免疫グロブリンを、検量線が原点を通る直線を描くのに十分量に、含むことを特徴とする前項1～3のいずれか1に記載の免疫測定方法。

5. 前記多量体を構成する免疫グロブリンの抗体力価が、前記被検物質に対する抗体の全抗体力価の少なくとも2%であることを特徴とする前項1～4のいずれか1に記載の免疫測定方法。

6. 免疫測定方法が免疫比濁法または免疫比ろう法である前項1～5のいずれか1に記載の免疫測定方法。

7. 被検物質が、C反応性蛋白質(CRP)、免疫グロブリン(I g G, I g A, I g M)、トランスフェリン、セルロプラスミン、ヘモペキシン、1-酸性糖蛋白質、2-マクログロブリン、2-ミクログロブリン、アポA I、アポA I I、アポB、アポC I I、アポC I I I、アポE、C3、C4、アルブミン、Lp(a)、シスタチンCのいずれかであることを特徴とする前項1～6のいずれか1に記載の免疫測定方法。

8. 試料に含まれる被検物質を分析するための免疫測定試薬であって、前記被検物質に対する抗体が、多量体を構成する免疫グロブリンを含むことを特徴とする免疫測定試薬。

9. 前記多量体を構成する免疫グロブリンが、I g M型抗体であることを特徴とする前項8に記載の免疫測定試薬。

10. 前記被検物質に対する抗体が、I g G型抗体と、多量体を構成する免疫グロブリンとしてのI g M型抗体とを含むことを特徴とする免疫測定試薬。